

第3回四国中央市総合計画審議会 会議録

日 時	令和3年12月22日(水)午後7時00分~午後8時45分		
場 所	四国中央市消防防災センター 3階大会議室		
出席者	【委員】(敬称略) 内村浩美、森川隆、木村康久、眞鍋一慶、後藤正、近藤善春、村上智子 寶利佳代、星川光代、篠原徹、清家孝、金崎佐和子、森実純夫、藤田恭二 石村聡美		
	【市】 安部総務部長 政策推進課:石川課長、大西課長補佐、坂田課長補佐、 片岡係長、水田主査、平岡主事		
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴者数	12名
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 公共施設等総合管理計画 改訂(素案)について (2) その他 4 閉会		
配布資料	・次第 ・委員名簿 ・資料1 四国中央市公共施設総合管理計画(素案) ・資料2 四国中央市分野別施設方針【再編の方針】(素案)		

【会議概要】

発言者	内容
	1 開会
	2 会長あいさつ
	3 議事
事務局	(1) 公共施設等総合管理計画 改訂(素案)について「資料 1 四国中央市公共施設総合管理計画(素案)」「資料 2 四国中央市分野別施設方針【再編の方針】(素案)」により説明
	質疑・応答
篠原委員	分野別施設方針で示した施設の再編時期には、地域住民や関係者との協議を行いながら進めるのか。
事務局	そのとおりである。 再編の実施段階においては、具体的な実施計画を策定し、説明会等を実施しながら行っていく。
内村会長	施設の再編方針について、判断基準があれば教えて欲しい。 また、学校教育系施設がすべて維持になっている理由も教えてほしい。
事務局	全ての公共施設は、安全面や防犯面などから、耐用年数満了期までに方針を決定しなければならない。 学校教育系施設については、担当部署や様々な関係団体の考えや意見を鑑み、現時点ではすべて「維持」としているが、今後の児童生徒数の減少や、厳しい財政状況を鑑みると再編は避けては通れないものと考えている。
金崎委員	各施設の再編方針について、現時点での方針を示していると思うが、今後、社会情勢の変化などを鑑み、方針を変更していくのか。
事務局	そのとおりである。 その時々々の社会情勢や住民ニーズなどによって柔軟に方針を見直していく。
内村会長	資料 1.6 ページの公共施設の延べ床面積について、公営住宅の割合が約 25%となっているが、入居率や入居者の年齢構成等を分析しているなら教えてほしい。また、再編方針は今後も見直していくのか。
事務局	「四国中央市住宅マスタープラン」策定時の入居率は約 69%である。 公営住宅は「四国中央市公営住宅等長寿命化計画」を策定しており、国が定める基準により試算し、目標管理戸数を現在の約 2,400 戸から 1,435 戸に縮減する方針としている。 これについても今後の入居率の変動や住民ニーズなどに応じ、適宜見直しを行いながら実施していく予定ある。
清家委員	分野別施設方針で示されている 1 次評価・2 次評価・評価段階の判断基準を教えてほしい。

事務局	<p>各評価の判断基準は、細かく設定されており、多角的に多数の評価項目により判断している。</p> <p>1次評価は、施設の稼働率、利用者数、歳入、歳出、バリアフリーなどの数値で評価している。2次評価は、数字だけでは判断できない公益性、必要性、有効性、代替性などを総合的に鑑みた評価方法を採用している。</p>
内村会長	2次評価の満点は何点か。
	<p>2次評価は、30点満点としている。</p> <p>1次評価、2次評価でそれぞれの評価基準に従った点数により評価し、総合評価(再編方針)を導き出す。</p> <p>分野別施設方針にそれぞれの評価基準(ルール)を追記する。</p>
森川副会長	財政面で予算に限りがあり、全ての施設を更新するのは難しいと考える。優先順位を決定してはどうか。
	最終ページに「今後の展開」として、優先順位を定めた上で必要な投資をしていくこととしている。今後、庁内プロジェクト委員会等で協議し、具体的な手法を構築していく。
眞鍋委員	資料1.55ページで記載されている単純更新型と長寿命化・再編型の違いを教えてください。
事務局	<p>単純更新型は、耐用年数満了を迎えた施設について、同種同規模で建て替えること。</p> <p>長寿命化は、耐用年数を延命するための大規模改修等を施すこと。</p> <p>再編型は、「廃止」や「処分」といった施設方針を決定し、総量の縮減を図っていくことである。</p>
内村会長	本計画の策定にあたり市民の意見は聴取しているのか。
事務局	<p>本日の総合計画審議会でもいただいた委員の意見や、1月に開催する議員説明会、その後のタウンコメントなどで広く意見を聴取する予定としている。</p> <p>また、長期的な視点から市内の高校生を対象としたアンケート調査を実施した。</p>
	(2)その他
事務局	次回の審議会は令和4年2月上旬に開催予定である。
	4 閉会
	終了